

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 保健医療学部

リハビリテーション学科

義肢装具専攻

名 前 藤枝 温子

作成日 2023年9月26日

1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

上肢装具学、卒業研究、フットウェア、義肢装具学基礎演習Ⅰ、職業とキャリア形成、義肢装具学演習（※理学療法専攻）

2. 理念（教育に対する考え方）

義肢装具の技術は社会潮流に乗り、進歩、発展を続けています。

この技術革新に追いつくには、義肢装具に対する興味と探究心がかかせません。

また義肢装具士は対象者、その家族、多職種と関わるため、コミュニケーション能力を必要とします。

大学 4 年間は、職業人としての準備期間でもあります。義肢装具士としての知識・技術だけでなく、義肢装具に対する興味、探究心を育てられるようサポートしていきたいと思います。そして学生生活を同じ目標持つ仲間と勉学に励み、コミュニケーション能力を養う時間であることを望んでいます。

3. 方法（教育方法において大切にしていること）

主体性が求められる現代社会に適応できる人材育成に重きを置き、学習面においても主体的に問題を発見し、答えを見つけていくような学習方法を取り入れるように心掛けています。

また初めて学ぶ学生の興味・関心が深まるよう、机上だけでなく今までの体験に関連したことや体感できること、実際に見て学ぶことを取り入れ、楽しさを感じられるように工夫している。

そして学習において重要なポイントを押さえ、時間を要して理解度を確認しながら学習を進めることを大切にしている。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

見て学ぶ体験から、分かりやすく、興味が湧くようになったという評価を得ることができた。また、実際に患者をに協力していただくことで、当事者の声を聴き、その話が興味深かったという意見があった。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

近年ではゲームを教育に取り入れた学習効果が注目されており、コロナ禍になりオンライン授業になったことから学習に取り入れている。

現在は英語教材のアプリを利用し、解剖や整形外科学、専門専攻科目の一部に学習教材として取り入れているに留まっているため、短期目標としては自身が担当する全ての科目に取り入れ、中期目標としては、自身が所属する専攻において多くの科目に取り入れる働きがしたいと考えています。

* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

* TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。
(シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。)